

	2010年10月	2010年11月	2010年12月	最近の経済動向
世界	-世界貿易量:10年:13.5%増 50年以降最大 -世界株時価総額2年ぶり高水準 -G20、通貨安競争回避、過度の不均衡是正 -世界M&A:9月55%増3四半期ぶり、7-9月:5.5%増6.6兆円 -世界パソコン出荷7-9月11%増、半導体9月26.2%増	-G20首脳会議:通貨切下げ回避、不均衡是正指針 -APEC閣僚会議:経済統合強化、ドーハ早期妥結、輸出制限自粛、FTAAP達成へ -物価:レアメタル高騰、 -10月:世界半導体売上高19.8%増	-物価:NY原油一時90ドル超	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需拡大等で成長維持し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は新興国への輸出、投資・生産の増加等で緩やかな回復も、消費、輸出に陰り。
日本	-GDP7-9月:4.5% 消費1.2%投資1.3%、輸出2.5%猛暑 -財政・金融:日銀追加金融緩和策 0.1 0%、国債、社債等5兆円購入、長期金利一時0.82%、緊急経済対策5兆円 -株価:7日終値9,684円、20日一時9,376円 -雇用:9月:失業率5.0%、0.1%改善 -物価:9月:消費者1.1%減 -消費:9月:家計消費支出横ばい、小売販売1.2%増、新車販売0.1%減、住宅着工17.7%増、7-9月:全産業6.5% -受注:9月:機械16.6%増、工作機械2.1倍 -生産:9月:鉱工業11.5%増、自動車生産11.4%増 -貿易:9月:輸出14.4%増、輸入9.9%増 -収益:7-9月:純益:上場企業86%増、パナソニック5倍310億円、キヤノン50%増、ホンダ2.5倍、日産4倍1,017億、トヨタ4.5倍986億IHI16倍56億円、最終益:ソニー311億円、三菱電450億円、コムツ9.6倍330億円、4-9月:営業益:日立2,000億円、東芝1,000億円、三菱重2.4倍、三菱電2.4倍、TDK6.7倍、富士通400億円、純益:三菱商8.9%増2,600億円、クボタ33%増、デンソ936億円、最終益:日立1,580億円、12月期:純益:キヤノン8.6%増2,450億円 -投資:7-9月:全産業5%増3年半ぶり、製造業9%増	-株価:8日終値9,780円 18日1万13円 -雇用:10月:失業率5.1%、0.1%悪化 -所得:10月:現金給与0.6%増8ヶ月+ -消費:10月:消費支出0.4%減エコ-廃止、小売販売0.2%減、新車販売25.9%減 -受注:10月:機械7%増、工作機械71%増 -生産:10月:鉱工業4.3%増エコ+補助金なし、機械8.8%増、自動車8.4%減 -貿易:1日円一時80.21円、10月:輸出7.8%増、輸入8.7%増、 -収益:7-9月:純益:電機8社1.4倍リマン前超え、自動車98%の水準 -投資:東芝・シャープ中小液晶パネル夫々1千億円、三菱重リチウム電池量産100億円、トヨタ新エンジンライン多品種少量生産半分で採算、住友電工・昭和電線超伝導量産、シャープ高効率太陽電池150億円、三洋世界最高効率太陽電池、キヤノン・カー・カートリッジ部品300億円、NECリチウム電子部品増産500億円、森精機精密計測器200億円、東芝・ルネサス・パワー半導体増産、10年度:設備投資11.5%増	-GDP:11年度1.5%、名目1% -株価:1日9,937円 -財政・金融:11年度法人税5%下げ -所得:冬ボーナス2.3%増 -受注:11月:機械22.9%増、産業機械8.8%減、工作機械2倍、 -収益:12月期:キヤノン8.4%増4千億円	(前々月)・GDP4-6月は消費低水準で減速、デフレ傾向続く。企業業績7-9月急回復続く。株価はこのところやや上向き。輸出回復が減速。投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率高水準もやや低下、個人消費は猛暑等で微増も車急減で先行不透明。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、円高、車補助金廃止影響懸念 (前・当月)・GDP7-9月は消費、投資、輸出やや回復。企業業績7-9月急回復続く。株価は緩やかな上昇傾向。輸出回復が減速。投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率高水準でやや悪化、消費はエコ-補助金廃止で落込み。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、円高、車補助金廃止影響懸念
アジア・大洋州	-中国:0.25%利上げ、貸出金利5.56%、9月:輸出25%増、輸入24%増、車販売16.9%増、工業生産13.3%増、不動産価格9.1%増、失業率4.1%、7-9月:GDP9.6%(1-9月固定資産24.5%増、小売18.3%増)、純益:レノボ44%増、BYD99%減、 -台湾:9月:鉱工業生産12.2%増、輸出17.5%増、海外受注16.7%増、7-9月:純益:ホンハイ25%増、宏達95%増、エイサ24%増、TSMC17%増、UMC65%増、アスル27%増、友達98%減 -韓国:韓・EU・FTA署名、現代自HV量産、LGディスプレイ有機EL、現代重太陽電池投資、9月:鉱工業生産前月比0.4%減、設備投資同3.6%減、輸出17.5%増、新車12.9%減、1-9月:プラント受注4.2兆円昨年上回る、7-9月:GDP前期比0.7%増、純益:起亜66%増、営業益:上場企業18.4%増、サムスン15%増3,500億円、現代自38%増、LG電子130億円赤 -タイ:株価最高値、9月:輸出21%増、自動車生産37%増、消費者物価3%増、10年:GDP7.3~8%増、 -ベトナム:7-9月:GDP7.2%、1-9月:消費者物価8.6%増 -インドネシア:7-9月:GDP5.8%増消費、投資、輸出 -インド:9月:鉱工業4.3%増、車販売29%増、消費物価5.8% 7-9月:DDP8.9%増、個人消費9.3%増、設備投資11.1%増	-GDP10年:アジア8.6%、中国10.1%、韓国6.1%、台湾9.8%、ASEAN7.5%、インドネシア5.9%、タイ7.6%、ベトナム6.7% -中国:預金準備率0.5%引上げ2回、インフレ警戒、10月:自動車生産22.5%増、消費者物価4.4%増、輸出22.9%増、輸入25.3%増、新車販売25.5%増 -台湾:10月:鉱工業生産14%増12ヶ月二桁、輸出21.9%増、海外受注12%増 -韓国:0.25%利上げ2.5%へ、サムスン第11世代液晶パネル工場建設、10月:鉱工業生産前月比4.2%減、新車販売2%増、10年:サムスン設備投資10%増1.43兆円、 -北朝鮮:韓国砲撃 -タイ:10月:自動車生産33%増、消費者物価2.8%増、10年:GDP7.9% -マレーシア:7-9月GDP5.3% -ベトナム:1%利上げ政策金利9%へ -インドネシア:10月:消費者物価5.6% -インド:株価最高値2年10ヶ月ぶり、10月:新車販売34%増28万台、卸売物価8.6% -豪:7-9月:GDP前期比0.5%	-中国:11月:鉱工業生産13.3%増、輸出34.9%増\$輸入37.7%増、消費者物価5.1%、新車販売26.9%増170万台、1-11月:固定資産投資24.9%増、10年:自動車販売34%増1,800万台史上最高、11年:GDP9%程度 -台湾:11月:輸出22%増、海外受注14.3%増 -韓国:11年:GDP5%前後、LG設備投資8%増1.2兆円液晶パネル、リチウム電池 -インドネシア:11月:消費者物価6.3%食料品 -タイ:11月:自動車生産30%増、 -インド:11月:新車販売21%増	(前々月)・中国は固定資産投資・生産・消費高水準、輸出も好調で経済拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績やや減速も好調維持、GDPも比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調でGDP比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)・中国は固定資産投資・生産・消費高水準、輸出も好調もインフレ傾向。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績やや減速も好調維持、GDPも比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調でGDP比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。中国、インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-GDP:7-9月:前期比年率2.5%増、5四半期+、個人消費2.6%増、設備投資9.7%増、輸出好調</p> <p>-景気:経済活動緩やか、総じて成長続く</p> <p>-財務・金融:追加緩和策実施(国債49兆円購入)、財政赤字10年度105兆円過去2位</p> <p>-株価:7日1万967ドル、21日1万1,104ドル</p> <p>-雇用:9月:失業率9.6%横這い、9.5万人減少</p> <p>-物価:9月:消費者0.6%57年以降最低、卸売4%増</p> <p>-消費:9月:個人消費前月比0.2%増、小売売上高7.3%増、前月比0.6%増、卸売売上高12.4%増、新車販売28.5%増、前年9月の反動、住宅着工前月比0.3%増3カ月+</p> <p>-受注:9月:耐久財受注前月比3.3%増</p> <p>-生産:9月:鋳工業前月比0.2%減1年3か月ぶり-</p> <p>-貿易:9月:輸出17.4%増</p> <p>-収益:7-9月:純益:主要500社24%増4四半期+、前期より鈍化、GE18%減1,620億円、IBM12%増2,900億円、アップル70%増3,500億円、インテル59%増30億ドル、TI60%増700億円、マイクロソフト51%増4,400億円、ゲーグル32%増、AMD1.2億ドル赤、フォード69%増1,400億円、GM1,600億円、キャタピラ96%増7.9億ドル、南米、アジア</p> <p>-投資:インテル次世代半導体6,500億円、フォード低燃費技術</p>	<p>-財務・金融:長期金利上昇10年もの2.79%</p> <p>-株価:5日1万1,395ドル</p> <p>-雇用:10月:失業率9.6%横這い、非農業雇用前月比15万人増</p> <p>-所得:10月:個人前月比0.5%増</p> <p>-消費:10月:個人消費前月比0.4%増4ヶ月+、小売売上高前月比1.2%増4ヶ月+、主要小売業1.6%増11ヶ月+、卸売上高13.4%増、新車販売13.4%増95万台、新築販売前月比8.1%減、住宅着工前月比11%減</p> <p>-受注:10月:耐久財受注前月比3.3%減</p> <p>-生産:10月:鋳工業前月比横ばい</p> <p>-貿易:10月:輸出前月比3.2%増、輸入同0.5%減</p> <p>-収益:8-10月:純益:デル2.4倍690億円、HP5%増2,110億円、</p> <p>-投資:GE新エネハンチャー46億円、クライスラー次世代変速機700億円</p>	<p>-景気:FRB景気改善続く</p> <p>-財務・金融:FRB量的緩和維持、長期金利上昇10年もの3.3%</p> <p>-株価:16日1万1,499ドル</p> <p>-雇用:11月:失業率9.8%0.2%上昇</p> <p>-消費:11月:小売売上高5.8%増、新車販売16.9%増87万台、住宅着工5.8%減</p> <p>-生産:11月:鋳工業前月比0.4%増</p>	<p>(前々月)・GDPは7-9月迄5期連続+。大幅な財政赤字。株価は上向き傾向。企業業績7-9月迄4期二桁増。輸出は復調。失業率高水準横這い、個人消費は上向き傾向、車販売前年反動増、住宅は復調の兆し。投資は回復傾向。生産の回復傾向に陰り高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>・GDPは7-9月迄5期連続+。大幅な財政赤字。株価は上向き傾向。企業業績7-9月迄4期二桁増。輸出は復調。失業率高水準やや悪化、個人消費は上向き傾向、車販売前年反動増、住宅再び悪化。投資は回復傾向。生産緩やかな回復傾向</p> <p>高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP:7-9月:ユーロ前期比0.4%増、独0.7%輸出二桁増、仏0.4%、伊0.2%、英前期比年率3%増4四半期+</p> <p>-財務・金融:欧州中銀政策金利1%据置</p> <p>-消費:9月:小売売上高:ユーロ1.1%増、独0.4%増、仏4.4%増、英0.4%増、スベ4.9%減、ポーラ9.9%増、新車販売:欧州10%減、独18%減10カ月連続-、仏8.2%減、英9%減、伊19%減、スベ27%減</p> <p>-受注:9月:製造業:ユーロ13.5%増、独18.2%増、仏0.4%減、英11.5%増、蘭23.6%増、スベ7.7%増、ポーラ12.2%増</p> <p>-生産:9月:ユーロ5.2%増、独8.3%増、仏4.2%増、英5%増</p> <p>-貿易:9月:輸出:ユーロ12.2%増、輸入10.8%増</p> <p>-収益:7-9月:主要企業53%増、純益:フィリップス3倍590億円、フィアット8.1倍190億円、最終益:ダイムラー29倍1,800億円、VW12倍2,400億円ユーロ安、ボルボ28.7億€、ノキア600億円、シメクス530億円赤字</p>	<p>-財務・金融:中銀資金供給緩和継続、アイルランド、ポルトガル、スペイン国債利回り最高水準、財政不安再燃、EU・IMFアイルランド支援9.4兆円</p> <p>-雇用:9月:失業率:ユーロ10.1%、0.1%上昇、独6.7%、仏10%、蘭4.4%、スベ20.8%</p> <p>-消費:10月:小売売上高:ユーロ1.7%増、独2.2%増、仏1.6%増、新車販売:EU18.2%減、独20%減、仏18.5%減、英22.2%減、蘭23.3%増、スベ37.6%減、ポーラ20.3%増</p> <p>-投資:BMW・EVに460億円投資13年発売、VW15年迄6兆円環境車、生産強化</p>	<p>-財務・金融:欧州版IMF13年6月創設</p> <p>-GDP:11年:ユーロ1.7 1.5、独3.7 2.2、仏1.6 1.6、英1.8 2.2、スベ0.2 0.7</p> <p>-消費:11月:新車販売:欧州8%減8ヶ月連続-、独6%減12ヶ月連続-</p>	<p>(前々月)・GDPは輸出主導で回復傾向。欧州株価低水準。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月以降マイナス、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p> <p>(前・今月)・GDPは輸出主導で回復傾向。欧州株価低水準。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月以降マイナス、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p>
中東ア	<p>-サウジアラビア:GE火力発電受注580億円</p> <p>-UAE:住商・韓国電発電事業1,500億円</p> <p>-南ア:GDP7-9月前期比年率2.6%増</p> <p>-トルコ:GDP7-9月5.5%増内需7.5%増</p>	<p>-産油国:原油高で経済好調、OPEC石油収入10年30%増61兆円</p> <p>-サウジアラビア:GDP10年4%増</p>		<p>・主要国経済は資源価格の上昇で回復傾向。一方、太陽光、原子力、電力、石化プロジェクト活性化。イカ・アフガンの情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:株価2年ぶり高値、GDP7-9月前期比0.5%増年率7%増</p>			<p>・ブラジル経済は景気回復、株価上昇もインフレ・利上げで冷却化。メキシコ経済も急回復。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:1-9月:GDP3.4%増</p>	<p>-ロシア:三菱重・双日・中国企業、肥料工場受注850億円、10月:新車販売62%増7ヶ月+</p>	<p>-ロシア:11月:新車販売80%増</p>	<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売、投資等内需中心に経済回復。持続的回復が課題。</p>

